

ひばり



令和7年9月1日
特別支援教室「ひばり」NO.5
府中市立府中第三小学校
拠点校校長 関 修一

2学期もよろしくお願ひします

今年度は2学期が9月始まりとなりました。長い夏休みでしたが、みなさんはどのように過ごされたでしょうか。

さて、5日より「ひばり」の指導が順次始まります。自分のよさや課題に向き合いながらより成長できる2学期となるよう、ご家庭や在籍学級と連携しながら指導していきます。ご協力よろしくお願ひいたします。

< 9月・10月の予定 >

9月の予定	10月の予定
4日(木) 五小 3・4年理解授業	3日(水) 午前指導なし・相談日
5日(金) 2学期指導開始	10日(金) 調整日(三小 4年理解授業)
19日(金) 午後指導なし(三小 研究授業のため)	14日(火) 調整日(三小 4年理解授業)
24日(水) 指導なし(三小 3年理解授業)	29日(水) 指導なし(三小 就学時健診のため)
25日(木) 指導なし(三小 3年理解授業)	

*指導回数が少ない曜日は、調整日に指導の振替を行う場合があります。振替を行う際は、連絡ファイル等でご連絡いたします。

*学校の予定は、各校の学校だよりや学年だより等で、確認してください。2学期は、各校それぞれ展覧会や運動会など行事があると思います。ひばりの指導と行事等が重なった場合は、担任の先生とご相談ください。

< おねがい >

・けがや病気で運動に参加できない場合は、事前に連絡ファイル等でお知らせください。安全面に配慮して取り組んでいきたいと思ひますので、ご協力をお願ひします。

9月の指導内容

	基礎	実践	発展
小集団	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期のめあて「まあいいか」 ・夏休みのことを発表しよう ・友達と仲良く ・おやつすごろく ・清潔にしよう ・だるま ひこうき ゆりかご ・動物歩き ・ドンじゃんけん 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期のめあて「まあいいか」 ・相談「ちりも積もれば」 ・9マス鬼 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談「ちりも積もれば」 ・相談「無人島SOS」 ・これってナニイロ? ・コーン鬼ごっこ
個別	個に応じた学習・夏休みの話	個に応じた学習	個に応じた学習

*小集団学習は、この中から児童の実態に合わせて活動を選んで学習します。

【2学期のめあて 「まあいいか」】



日常生活や学校生活を過ごす中で、自分の意見が通らないこと、思うようにできないこと、期待した結果にならないことなど、思い通りにならない場面はたくさんあります。そのときに気持ちを切り替えるキーワードが『まあいいか』です。自分の気持ちに気づき、言葉にできるようにすると同時に、自分の気持ちに折り合いをつけたり気持ちの切り替えを図ったりすることも必要になってきます。基礎グループでは、苦手なことや難しいこと、やりたくないことがあったときに「嫌だからやらない」ではなく、「嫌だけどやる」ということも大切にしながら指導しています。様々な葛藤場面で、自分の中で「まあいいか」と、気持ちの切り替えができたらいいなと思います。ご家庭やクラスでも、キーワードとしてぜひ使ってみてください。

～この「まあいいか」は、○？それとも×？～

☆「ひばり」では、クイズ形式で「まあいいか」の○の場面、×の場面を考えさせています。

- ① 足し算、難しくて苦手なんだよな。分からないところは聞けばいいし、まあいいか。頑張ってみよう！…○
- ② たくさん宿題が出ていて大変だし、やらなくて、まあいいか！…×
- ③ 体育で使う風船の色が青だった。本当は赤がよかったな。青でも同じ風船だし、まあいいか！…○
- ④ 今日は疲れて早く寝たいな。歯を磨くのも面倒だな。1日ぐらいやらなくても、まあいいか！…×

教員向け「ひばり」研修会



7月23日（水）、府中第三小学校に公認心理師の深沢敦子先生をお招きし、教員向け「ひばり」研修会を実施しました。『すべては児童理解から～子どものための授業～』というテーマで、深沢先生ご自身の経験も交えながら、児童理解の必要性や、一人の人として子供とかかわることの大切さなどについて話してくださいました。その中で、失敗したときに叱るよりも、事前にできるようになるための声掛けをしたり手立てを打ったりしながら、子供の成功体験を増やすことが必要だということ学びました。少しの工夫で、「前よりもできるようになったね！」と褒める機会が増え、「できた！」という喜びを一緒に味わうこともできます。「ひばり」でも子供に「できた！」という経験を積み重ねながら、自信や自己肯定感を育てていきます。ご家庭でも、お子さんとかかわりのヒントにしていただければと思います。最後に、研修会に参加した教員の感想をいくつか紹介します。

子供への見方が変わりました。子供の行動には、理由があることを忘れずに指導していきたいです。

一人一人を本当の意味で大切に、同じ人間であると思ってかわり、共に過ごし、支援していきたいと思う。

正しく見立てることを最優先することは、児童一人一人の存在を大事にすることに繋がると感じました。